

# 豊庄だより



第 684 号 2021 年 11 月 1 日

今年の秋の遠足はあいにくの雨で、大幅な予定変更をしなければならなくなりました。大人の世界なら、あ〜あと残念な気持ちばかりになってしまいそうですが、保育園の世界は違いました。その報告をし

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達

ます。

この日の私の予定は、初めにばら組の室見川河畔のドングリを拾っているところを見、次は室見中公園のもも組、それから、さくら、すみれ組のいる原北公園。最後に、ゆり、ひまわり組が遊んでいる飛行機公園へと、すべての目的地を踏破することにしていました。今年もコロナ禍のため地下鉄に乗っての姪浜中央公園行きは出来ず、おかげと言ってはいけませんが、遠足の目的地は保育園の周辺となり、私の足の速さでも、なんとか回れる範囲だと考えていました。



しかし、ご存じのように小雨模様。ばら、ゆり、ひまわり組は、直前まで雨雲レーダーを見、雨に遭わないで行ける時間を確認し、コースを短く変更して出発しました。弁当を外で食べることも断念、予定より早く保育園に戻ってきました。その間、もも組は2階の探索、さくら組は部屋でトンネル遊びをして過ごし、すみれ組は、ピロティで三輪車に乗っていました。でも、いつもの三輪車遊びとは異なっていました。コースが書かれ、途中、先生が横断中の旗を差し出し、楽しそうでした。



さて、2階のばら、ゆり、ひまわり組は何をしているのかと見に行きました。ばら組はけん玉作りをし、玉は松ぼっくり。紙コップに自由に好きな色を塗ったり、顔を描いたりして遊んでいました。ゆり組は、公園では遊べなかったの、部屋に鉄棒や一本橋を作り、「ゆり組公園」と名付けて遊んでいました。その後、リュックと水筒を持って1階を散策し、広場へ移動している気分を味わっていました。ひまわり組は、部屋

で椅子取りゲームで盛り上がり、その後リュックと水筒を持って園内を散歩、ぐるっと回ってホール公園へ。そこでシートを広げておいしく弁当を食べていました。

※写真はその時の様子です。全てのクラスの遠足の様子は、紙面の都合で紹介できませんでした。CDR(合計270枚の写真データ)の貸し出しをしています。

